

クニミネ工業株式会社

2020年3月期
第2四半期 決算説明会

2019年12月5日
証券コード：5388

1 経営トピックス

2 2020年3月期 第2四半期決算概要

3 2020年3月期 通期見通し

4 中期経営計画

2020年3月期 上期概況

	2020年3月期 上期	前年同期比			計画比		
		実績	増減額	増減率	計画	増減額	増減率
(単位：百万円)							
売上高	7,186	6,395	791	12.4%	7,161	25	0.4%
営業利益	670	558	112	20.1%	759	△88	△11.7%
経常利益	749	588	161	27.3%	775	△26	△3.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	580	383	197	51.5%	564	16	2.9%

1 経営トピックス

2 2020年3月期 第2四半期決算概要

3 2020年3月期 通期見通し

4 中期経営計画

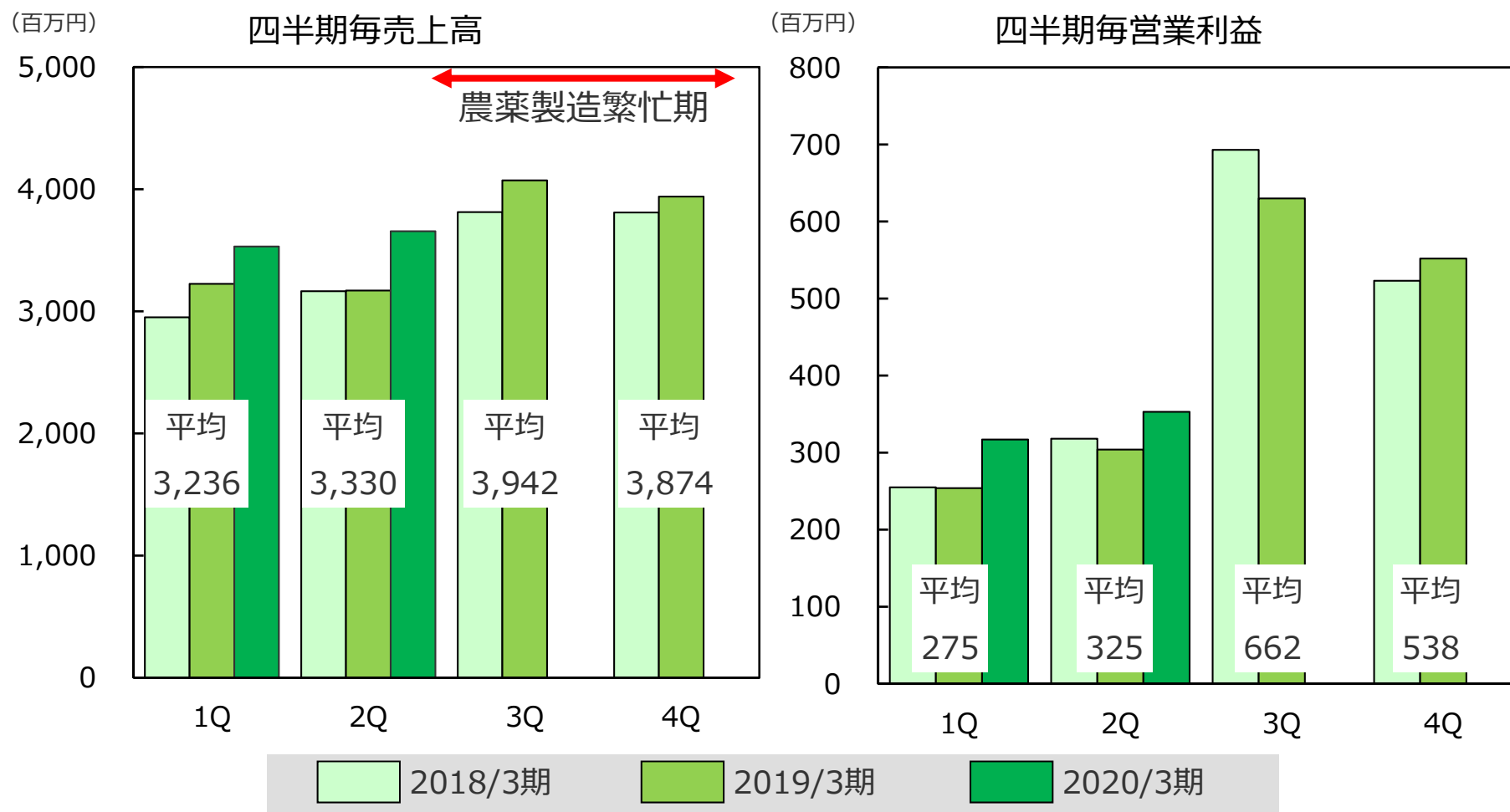
2020年3月期 第2四半期決算概要

要約損益計算書

(単位：百万円)	2020年3月期上期		前年同期比			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	7,186		6,395		790	12.4%
売上原価	4,984	69.4%	4,430	69.3%	554	12.5%
売上総利益	2,202	30.6%	1,965	30.7%	236	12.0%
販売管理費	1,531	21.3%	1,407	22.0%	124	8.9%
営業利益	670	9.3%	558	8.7%	112	20.1%
営業外収益	92	1.3%	119	1.9%	△26	△22.4%
営業外費用	14	0.2%	89	1.4%	△75	△84.1%
経常利益	749	10.4%	588	9.2%	160	27.3%
特別利益	43	0.6%	0	0.0%	43	-
特別損失	4	0.1%	3	0.1%	0	14.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	580	8.1%	383	6.0%	197	51.5%

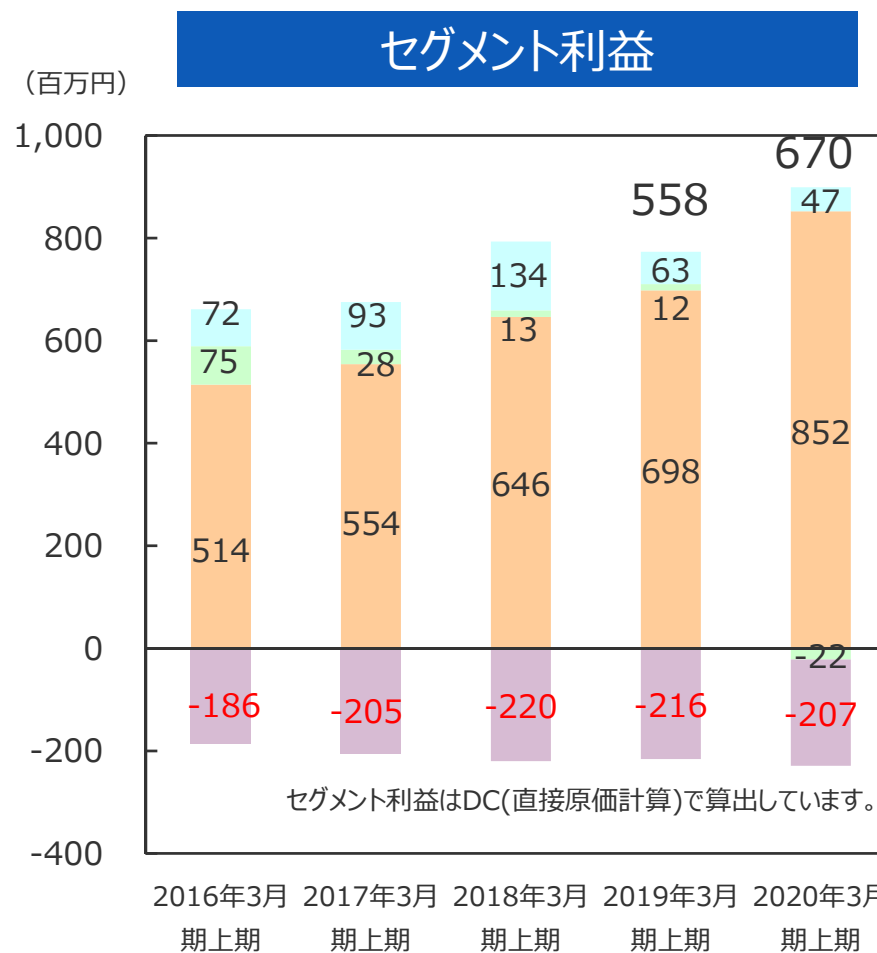
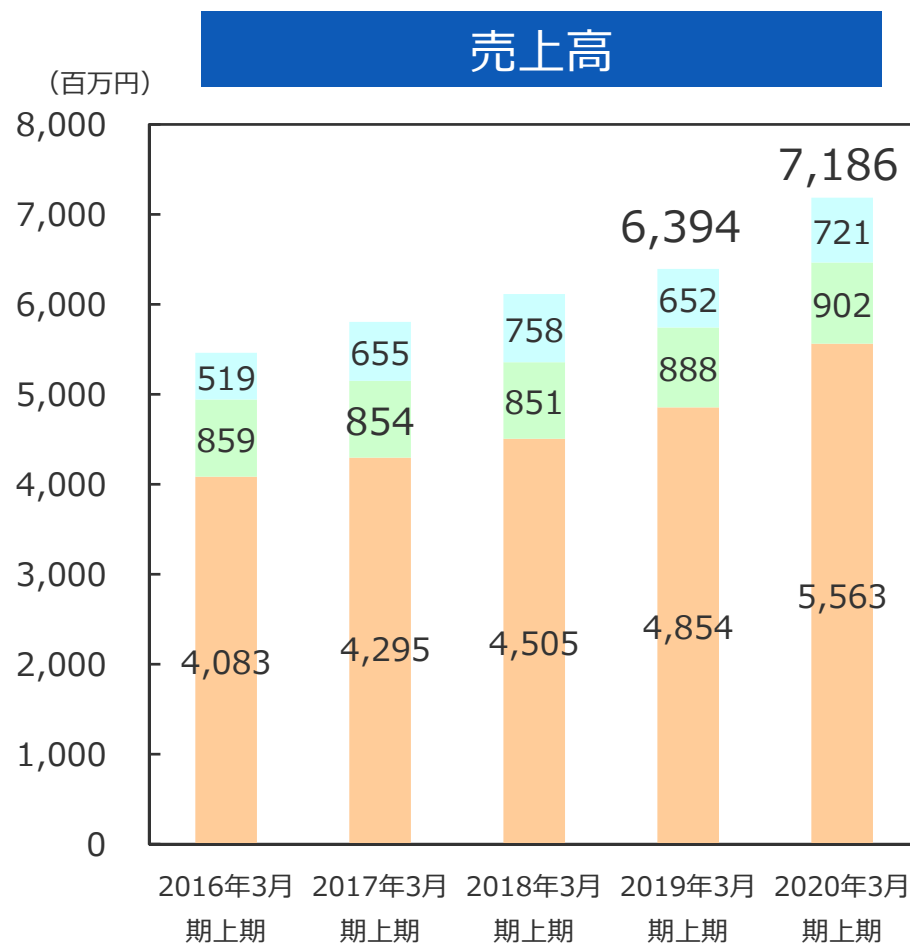
2020年3月期 第2四半期決算概要

四半期毎売上高、四半期毎営業利益推移



2020年3月期 第2四半期決算概要

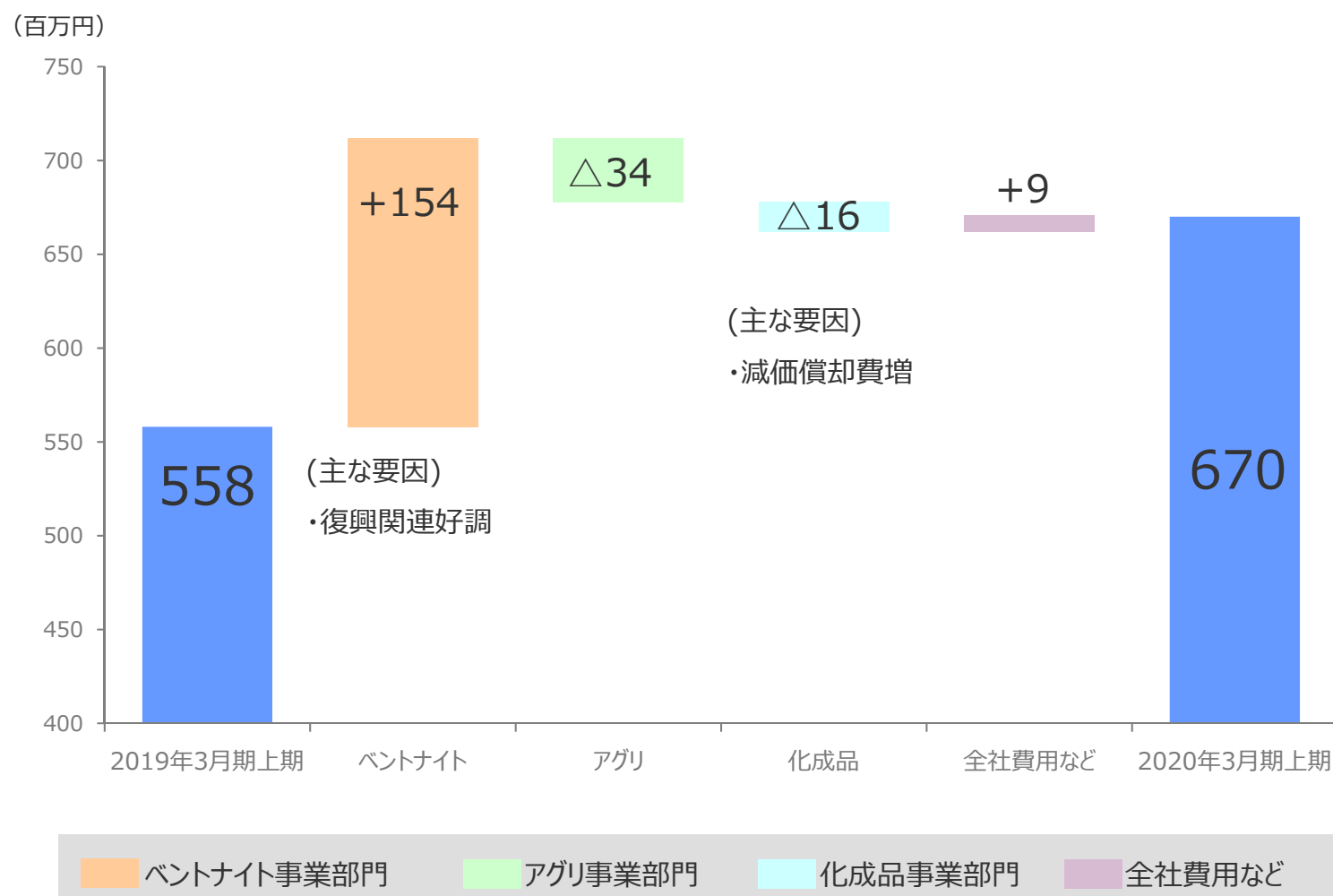
事業セグメント別 売上高・営業利益推移



■ ベンツナイト事業部門
 ■ アグリ事業部門
 ■ 化成品事業部門
 ■ 全社費用など

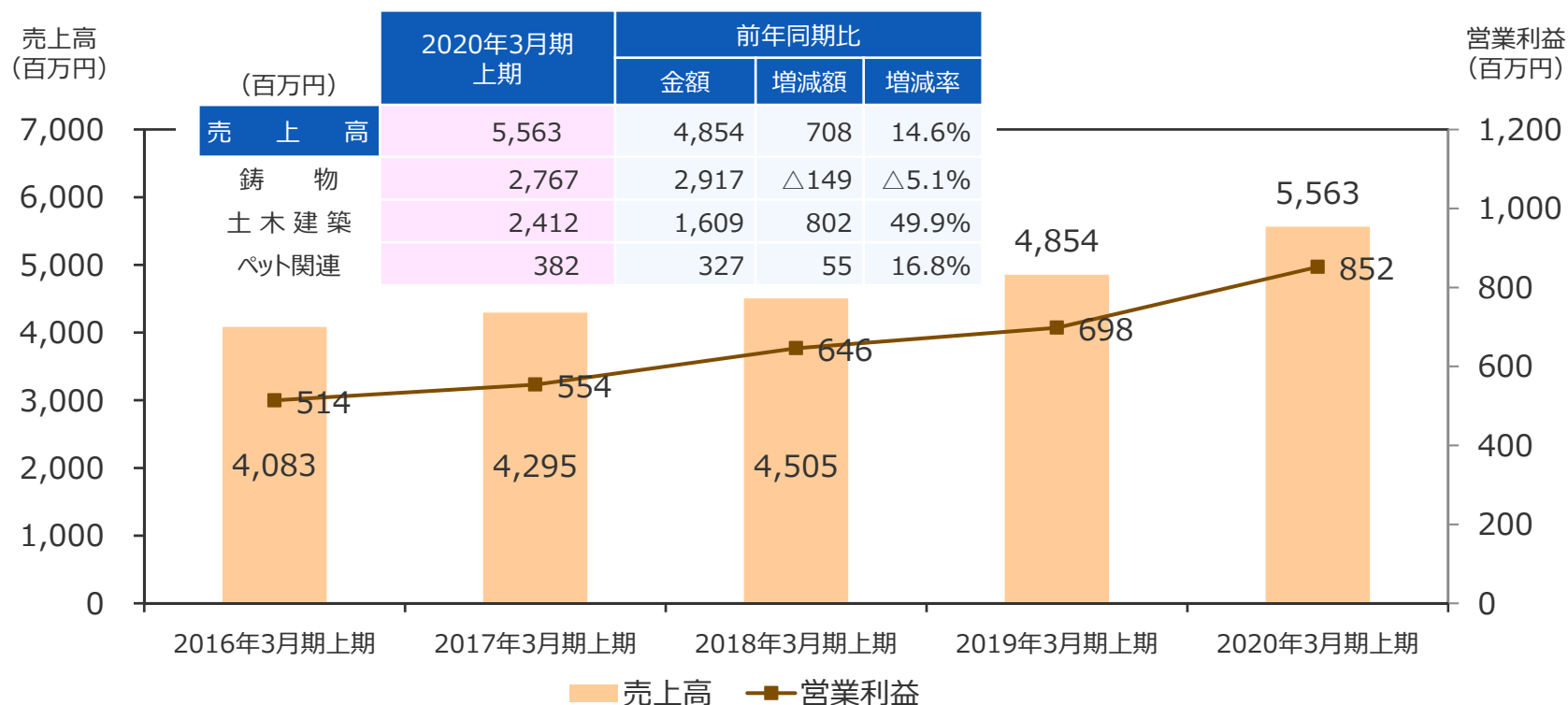
2020年3月期 第2四半期決算概要

増減益分析 (営業利益ベース：前年度比)



2020年3月期 第2四半期決算概要

ベントナイト事業部門 売上高・営業利益



■売上高

鋳物：国内の自動車生産台数が堅調であったものの、建機関係の減少等により減収。

土木建築：復興関連が引き続き好調なことにより大幅増収。

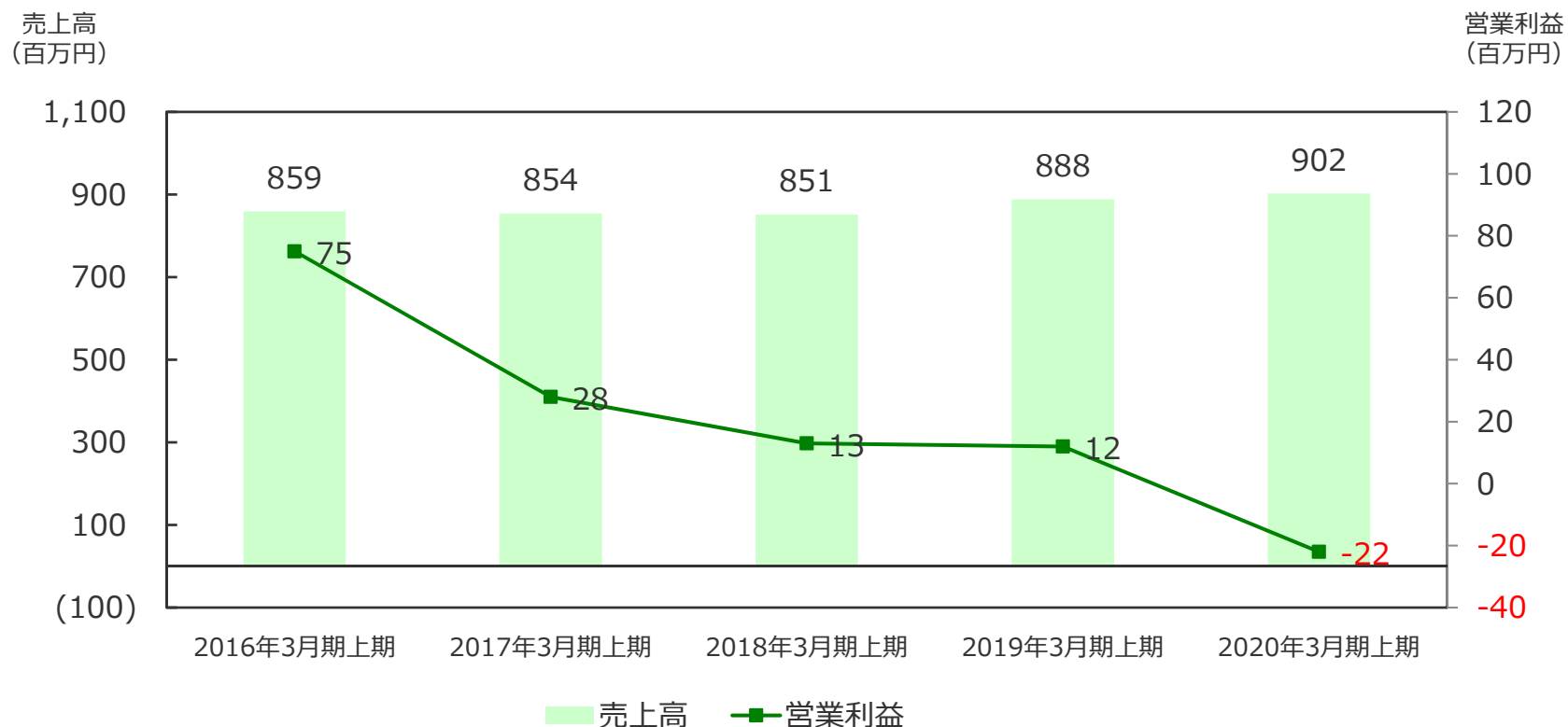
ペット関連：新規案件が引き続き堅調なこと等により増収。

■セグメント利益

復興関連の需要が好調なことにより大幅増益。

2020年3月期 第2四半期決算概要

アグリ事業部門 売上高・営業利益



■売上高

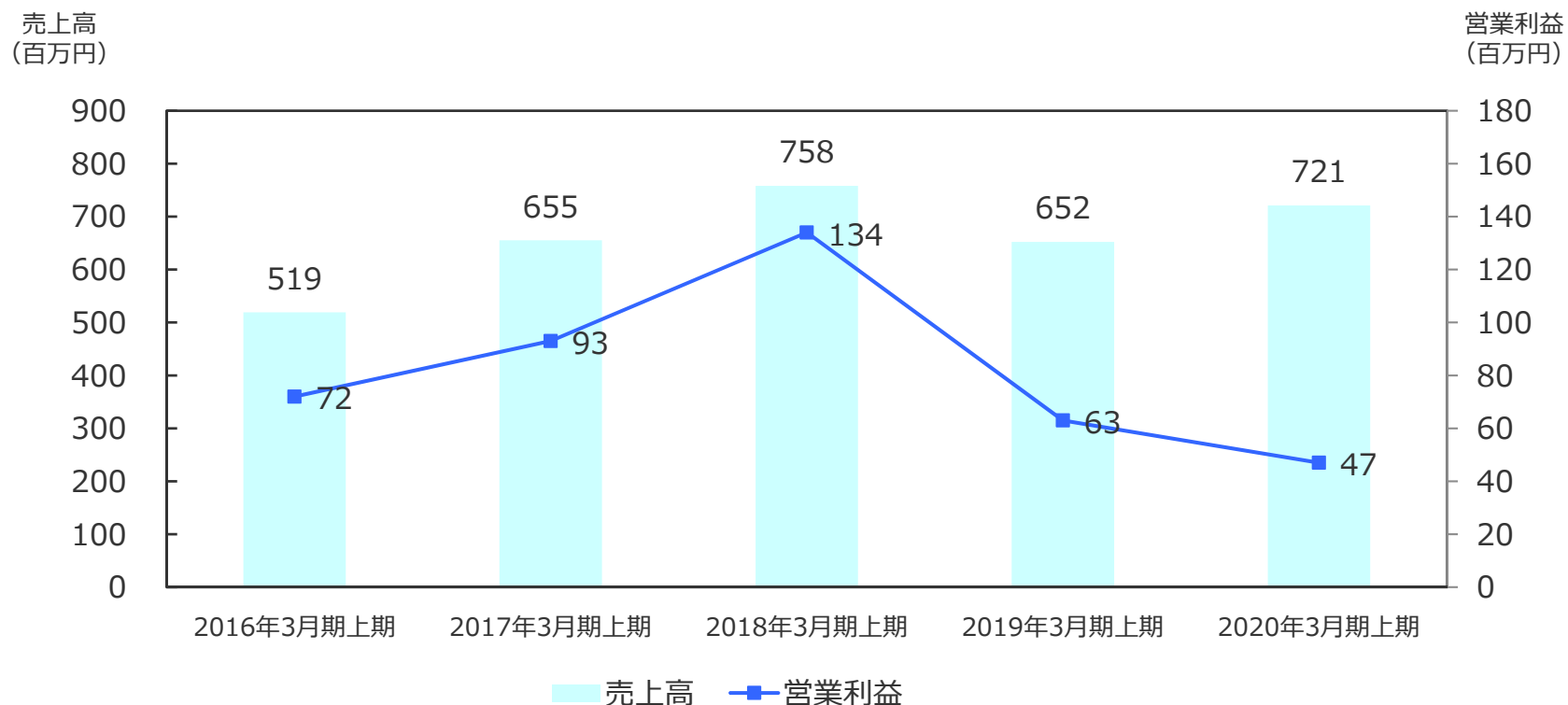
殺虫・殺菌剤の落ち込みがあったものの、水稻用除草剤が堅調に推移、若干増収。

■セグメント利益

売上品目の構成が変化したことにより減益。

2020年3月期 第2四半期決算概要

化成品事業部門 売上高・営業利益



■売上高

前期低調のクニピアが復調、増収。

■セグメント利益

クニピア第2工場の減価償却費による負担増のため、減益。

2020年3月期 第2四半期決算概要

要約貸借対照表

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期末	2019年3月期末比		
		金額	増減額	増減率
流動資産	12,352	13,509	△1,156	△8.6%
現金及び預金	5,097	6,118	△1,021	△16.7%
受取手形及び売掛金	4,477	4,718	△240	△5.1%
たな卸資産	2,038	1,889	148	7.9%
固定資産	8,212	8,228	△15	△0.2%
有形固定資産	6,267	6,247	19	0.3%
無形固定資産	105	80	24	31.2%
投資等	1,840	1,900	△59	△3.2%
資産合計	20,565	21,737	△1,172	△5.4%
流動負債	2,086	1,992	93	4.7%
買掛金	1,005	754	251	33.3%
短期借入金	-	-	-	-
固定負債	931	931	△4	△0.5%
長期借入金	-	-	-	-
負債合計	3,017	2,928	88	3.0%
株主資本合計	16,817	18,045	△1,227	△6.8%
純資産合計	17,547	18,808	△1,261	△6.7%
負債純資産合計	20,565	21,737	△1,172	△5.4%

1 経営トピックス

2 2020年3月期 第2四半期決算概要

3 2020年3月期 通期見通し

4 中期経営計画

2020年3月期 通期見通し

セグメント別売上高予想

・上期実績を踏まえ、前回発表時から各セグメント売上高を見直しました。合計売上高は変更ありません。

期初計画

	2020年3月期 (計画)	前年同期比		
		金額	増減額	増減率
売上高	15,705	14,406	1,298	9.0%
ベントナイト事業部門	10,997	10,226	771	7.5%
アグリ事業部門	3,008	2,863	144	5.1%
化成品事業部門	1,698	1,316	382	29.0%

(単位：百万円)

見直し後

	2020年3月期 (予想)	前年同期比		
		金額	増減額	増減率
売上高	15,705	14,406	1,298	9.0%
ベントナイト事業部門	11,535	10,226	1,309	12.8%
アグリ事業部門	2,733	2,863	△130	△4.5%
化成品事業部門	1,436	1,316	120	9.1%

(単位：百万円)

ベントナイト537百万円増、アグリ275百万円減、化成品262百万円減

2020年3月期 通期見通し

収益予想

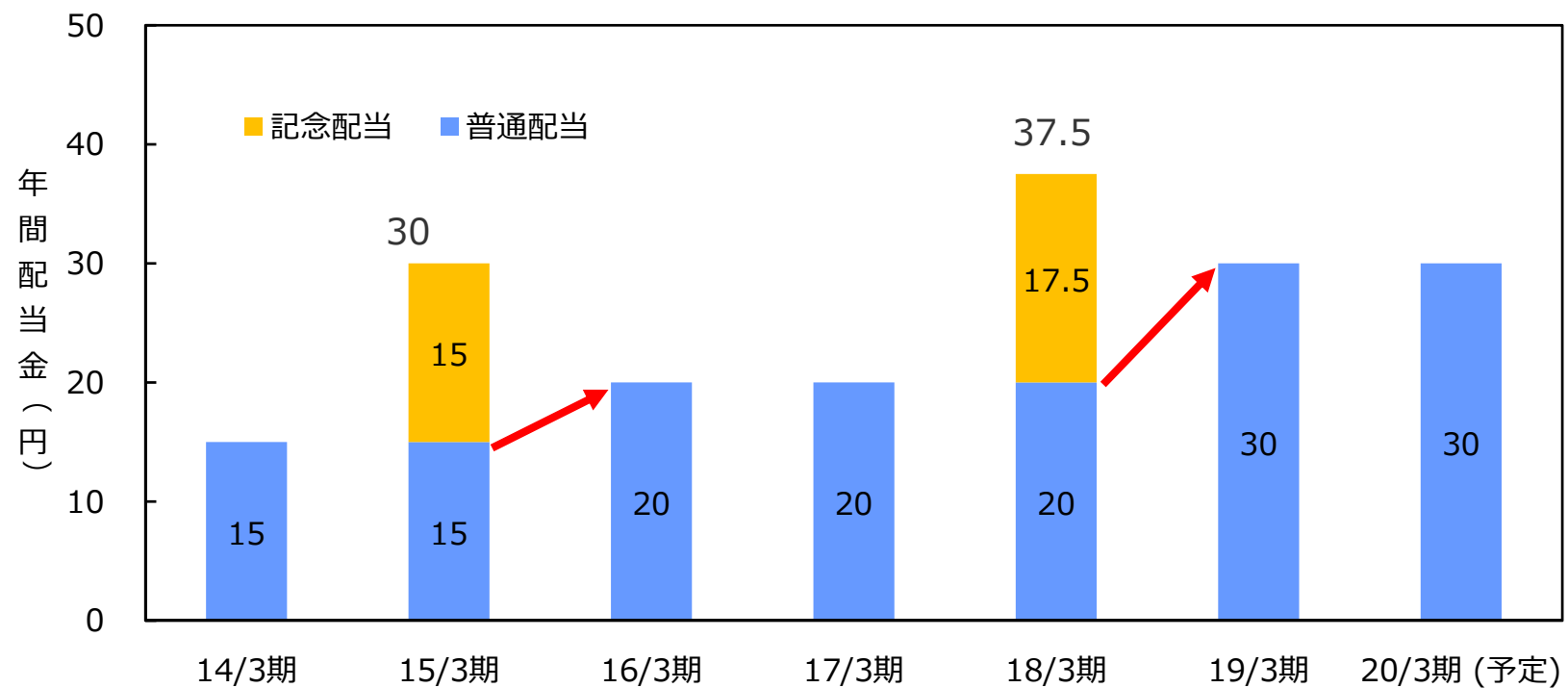
(単位：百万円)	2020年3月期 (予想)	前年同期比		
		金額	増減額	増減率
売上高	15,705	14,406	1,298	9.0%
営業利益	1,789	1,740	49	2.8%
経常利益	1,905	1,827	77	4.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,391	1,402	△11	△0.8%
為替レート(円/ドル)	125	111	14円安	

■アグリ事業部、化成品事業部門は計画達成が厳しい状況。
 しかしながら好調なベントナイト事業部門の増収等で補える見込みであり、
 通期連結売上高・利益ともに当初計画を維持。

株主還元について

配当金

2020/3期の一株当たり配当金は、
30円を予定しています。



1 経営トピックス

2 2020年3月期 第2四半期決算概要

3 2020年3月期 通期見通し

4 中期経営計画

当社を取り巻く事業環境

グループ全社 ・次世代を担う人材の採用と育成の充実
・I T活用による省人・省力化の推進

ベントナイト事業

期待材料

- ・東京五輪などや復興・環境整備関連の需要
- ・中央リニア新幹線着工
- ・地熱発電事業の活発化

懸念材料

- ・カーシェアリングによる自動車販売台数の減少
- ・タイを含むASEAN諸国の景気停滞

アグリ事業

期待・懸念材料

- ・日米・米中貿易交渉の行方
- ・農薬メーカー再編
- ・ジェネリック農薬の影響
- ・農業従事者の高齢化

化成品事業

期待材料

- ・包装資材などバリア材料に対するニーズの拡大
- ・有機ELパネル、電子基板など先端機能材料分野への利用拡大
- ・化粧品市場の需要拡大

基本戦略と進捗状況

基本戦略

海外市場の 展開・拡大

国内基盤 事業の拡充

資源の 利用高度化

資源とシステムを科学し
顧客の創造を図る

3カ年の方針

- ・差別化製品、オンリーワン製品を軸とした海外市場での販路開拓
- ・高品質原鉱の安定調達に向けた取り組みの強化

- ・国内インフラ整備事業、復興・環境整備関連事業等の取り込み推進
- ・ITを活用した生産性向上による省人・省力化の実現
- ・新鉱区開発を見据えた探査と技術開発への注力

- ・既存技術を応用した新製品開発・新市場への参入
- ・新用途開発に向けた産学官連携による研究

具体的取り組みや成果

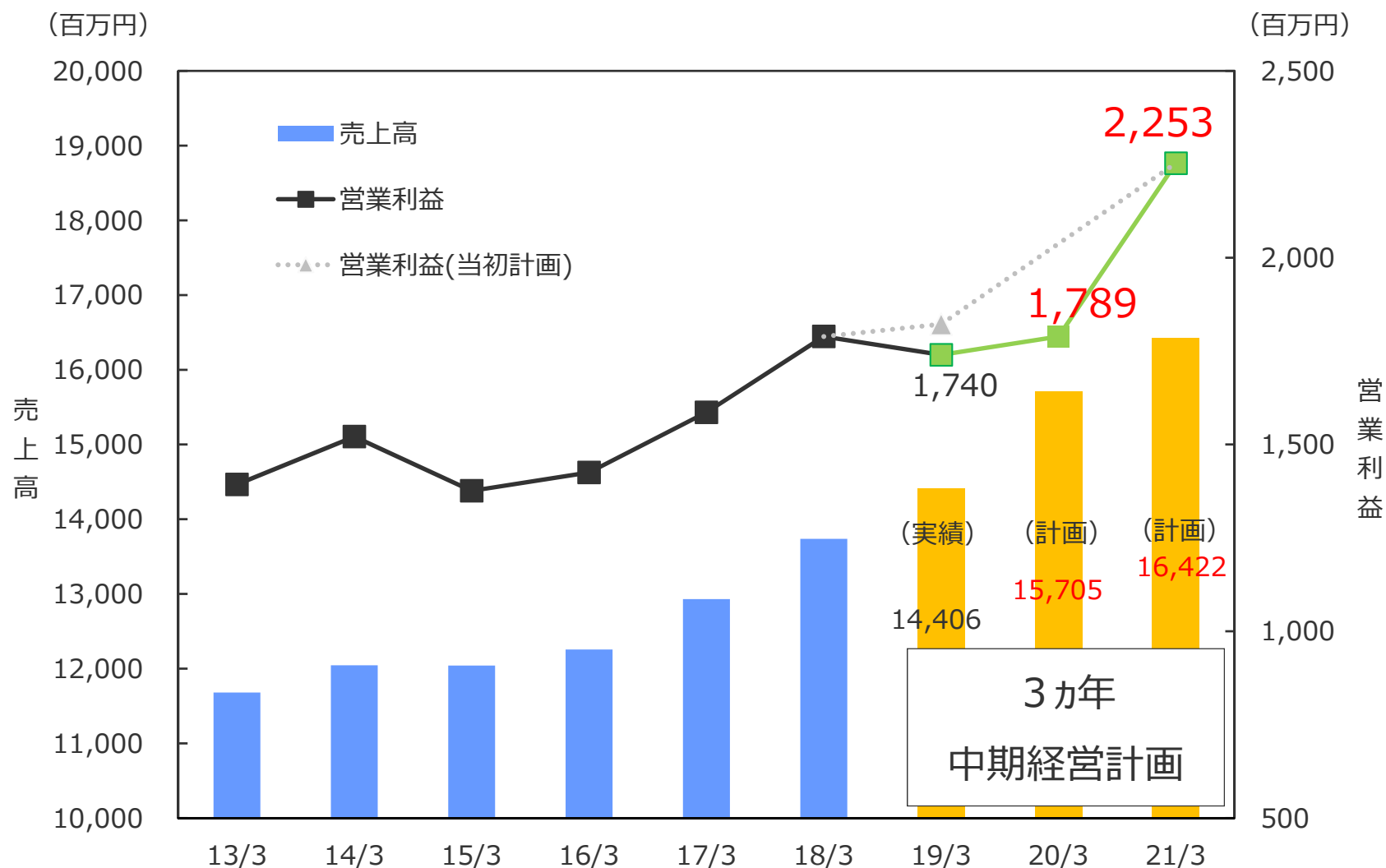
- ・タイの子会社を通じた東南アジア地域での拡販
→ 売上高は中期計画策定時から45%増加
- ・クニピアおよびスメクトンの海外市場への拡販
→ クニピア第2工場を新設、生産能力倍増

- ・復興・環境整備関連等の需要獲得に向けた積極的な営業活動を展開中
- ・復興関連の需要拡大に対応するため設備投資を実施、生産能力増強
- ・IT等を活用した止水材製造設備の自動化
在庫管理システムを構築

- ・カビ毒吸着能を有したベントナイトを販売開始
- ・バリア用ベントナイト（クニピア-RC-G）を販売開始

中期経営計画

売上高、営業利益の推移と目標

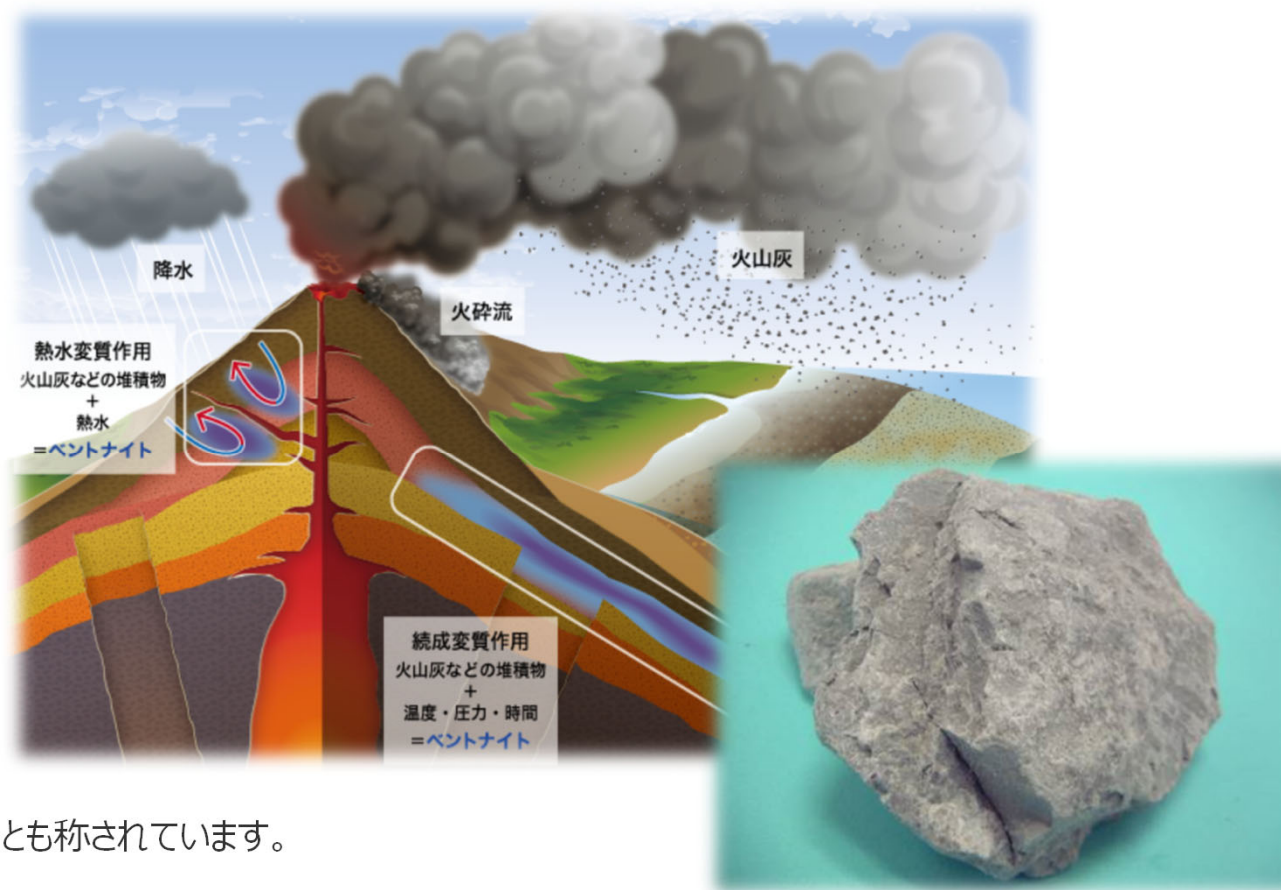


参考資料 クニミネグループを支えるベントナイト

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは"1,000の用途を持つ粘土"とも称されています。



鋳物部門



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、お客さまに対し最良の生産環境を構築するためのサポートも行っています。

鋳物砂の分析を行っている黒磯研究所では、お客さまの様々なニーズに応え、当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。



主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ

土木建築部門

アースドリル工法などの杭基礎の掘削工事時にはベントナイト泥水を使用することにより、粘土分で孔壁に膜を形成し、水の浸透による孔壁崩壊を防止しています。また、ベントナイトの遮水性を活かし、一般廃棄物処分場の遮水工事に



※「クニシール」



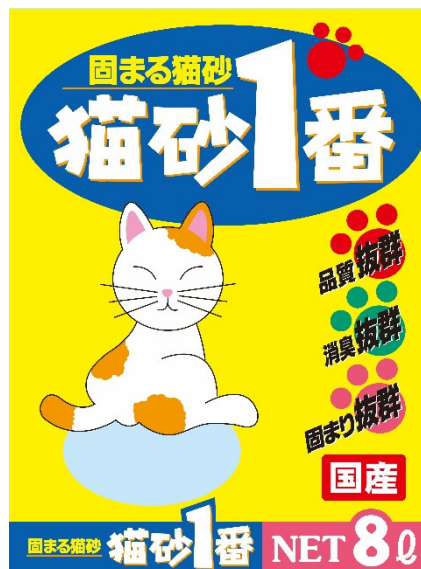
ベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

放射能汚染廃棄物の処分場向けにおいても、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まりつつあり、再生可能エネルギーである地熱発電や海底資源掘削向けなどを中心にボーリング需要も増加しています。

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGT ●クニゲルVO
- クニゲルGS ●クニゲルU ●佐渡 ●「クニシール」シリーズ

ペット関連部門



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



主力商品

「猫砂1番」シリーズ ●猫砂1番 ●猫砂1番金印 ●猫砂1番大粒
「プレディ」シリーズ ●消臭剤から生まれたねこ砂

アグリ事業部門

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。



主力商品

- クレー細粒剤 ●クニゲルV1 ●天竜
- クニピアF ●クニピアG ●スメクトンSA



化成品事業部門

ファインケミカル分野のうち、ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトの純度を高めた精製ベントナイト「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。

また、合成スメクタイト「スメクトン」は、高粘性や高チクソ性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。

「環境保全処理剤」は、清掃工場の大気汚染防止など、排ガス処理工程において利用されています。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 環境保全処理剤



本日はありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。